

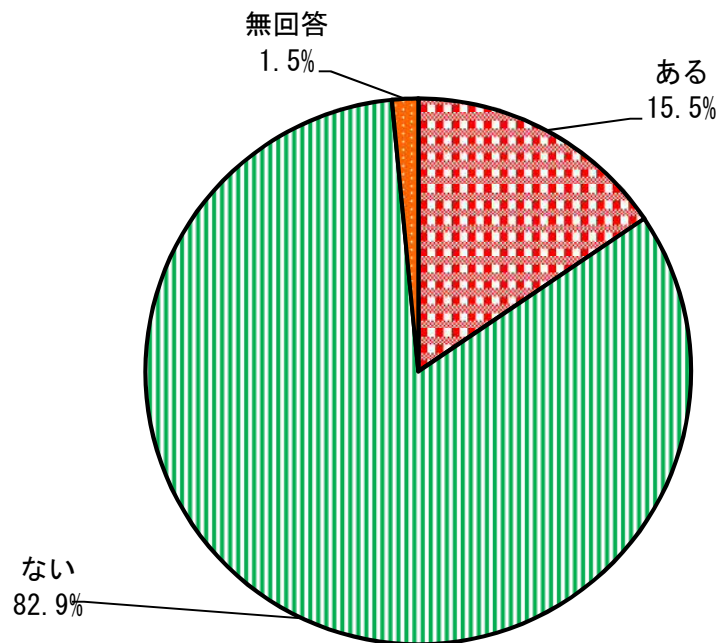
④ 多文化共生について

名古屋市では、令和2年3月末現在、外国籍をもつ市民は、人口の約3.4%、87,000人を超えています。国籍も多様化し、国際結婚により生まれた人や海外からの帰国者など、日本国籍であっても外国文化を背景に持つ人々も見受けられ、文化の違いにより様々な課題が生じています。

こうした状況について、市民の皆さまのご意見をおたずねし、外国人市民と日本人市民がともに暮らしやすいまちづくりをすすめるうえでの参考とさせていただくものです。

問 24 あなたは、外国人市民との間で、地域や職場などでトラブルがあったり、とまどったりした経験がありますか。(外国人市民の方は、日本人市民との経験についてお答えください。)(○は**1つだけ**)

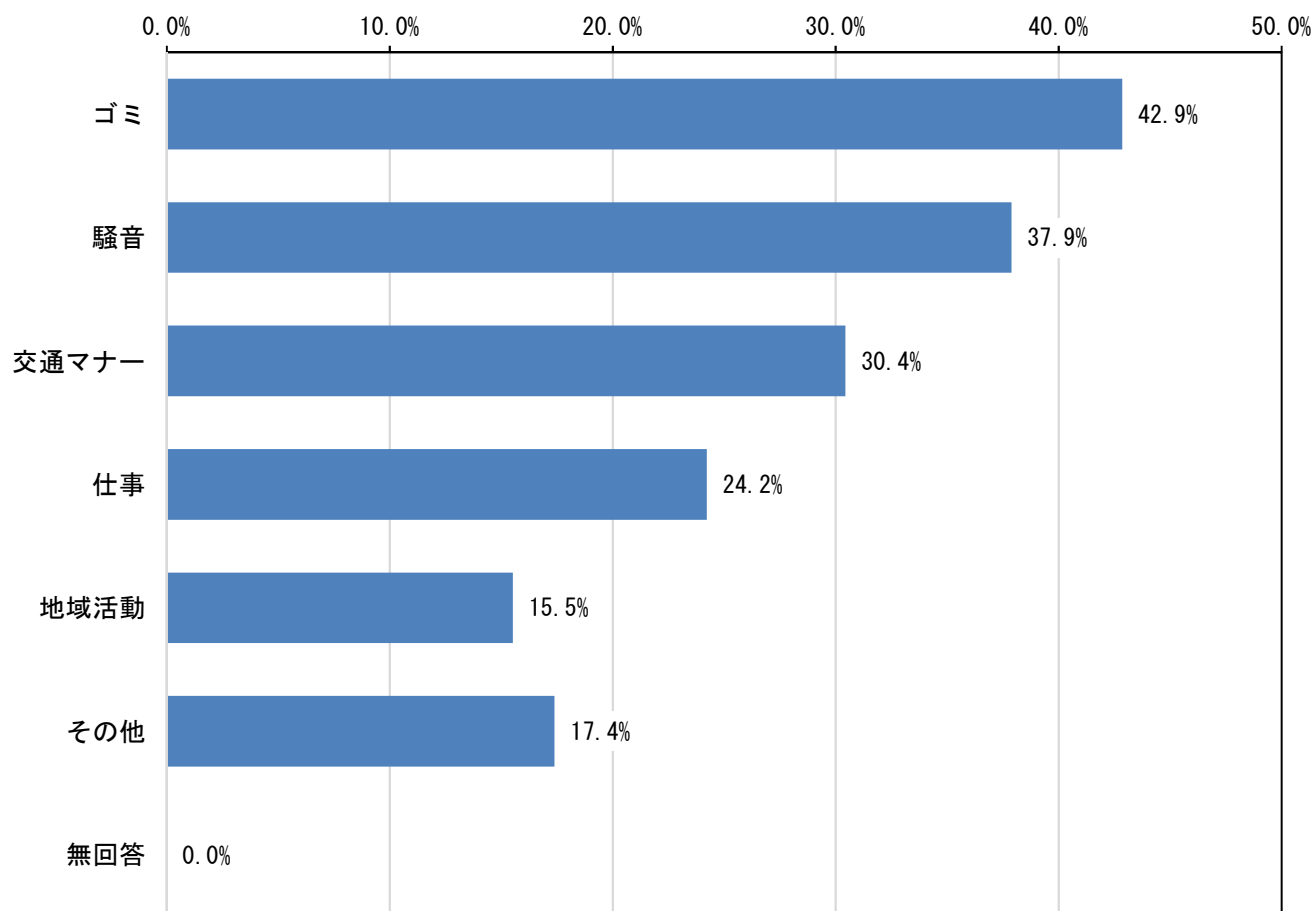
N=1,036



《問 24 で1と答えた方（トラブルがあったり、とまどったりした経験のある方）におたずね
します。》

問 25 トラブルがあったり、とまどったりした経験の内容は何でしたか。（〇はいくつでも）

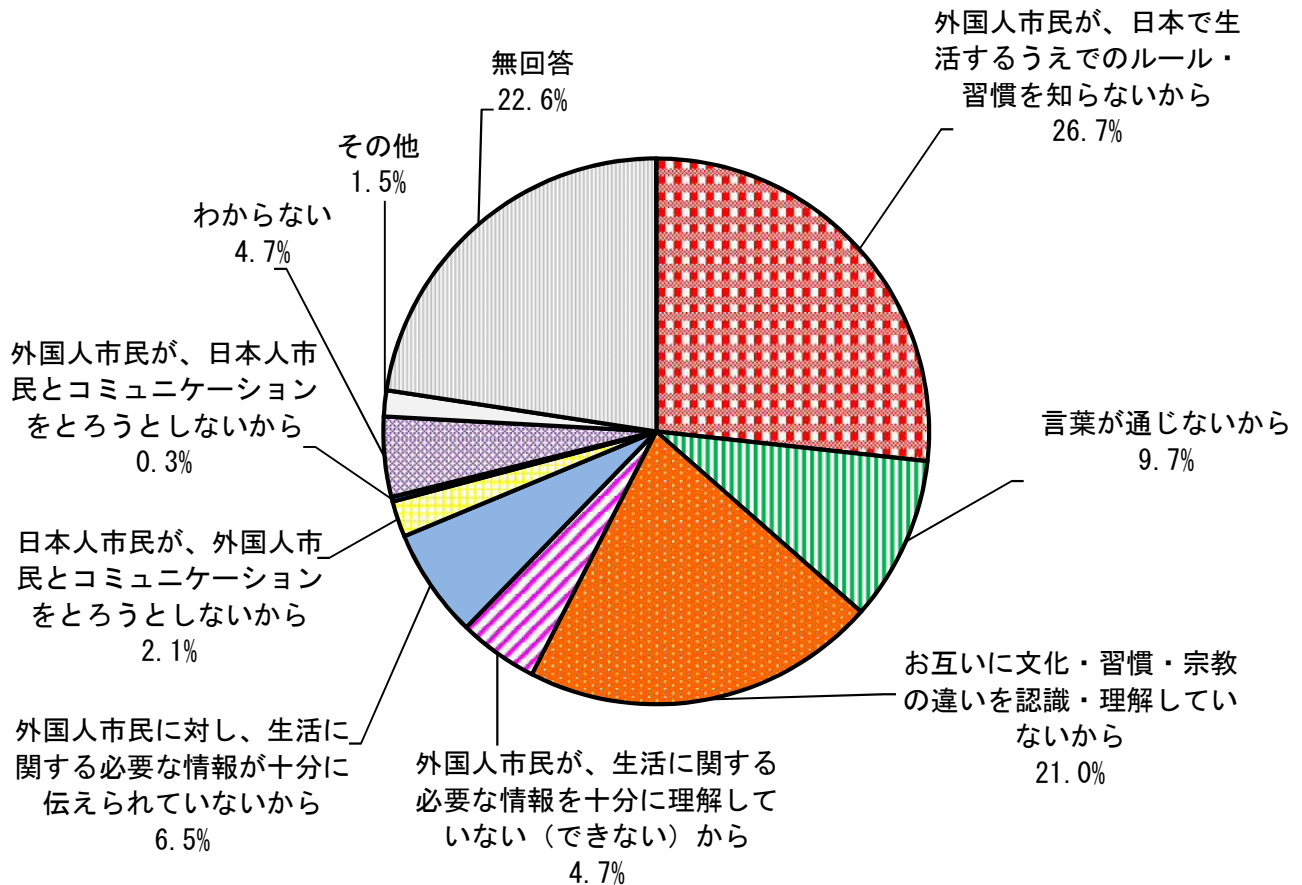
N=161



《すべての方におたずねします。》

問 26 外国人市民と日本人市民との間で問題が発生する場合、どのような原因があると思いますか。（○は1つだけ）

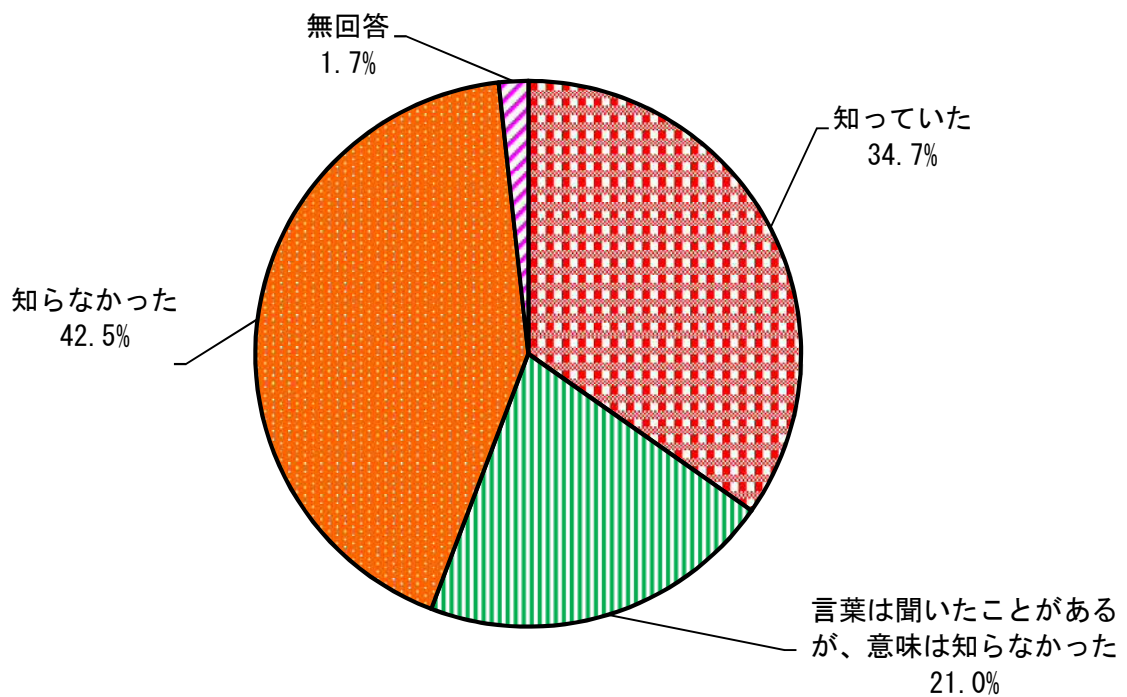
N=1,036



「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共にしあわせに生きていくこと」を「多文化共生」といいます。名古屋市では「名古屋市多文化共生推進プラン」を策定するなど、外国人市民と日本人市民がともに暮らしやすい多文化共生のまちづくりをすすめています。多文化共生のまちづくりの実現のためには、市民の皆さまとともに取り組む事が重要であると考えています。

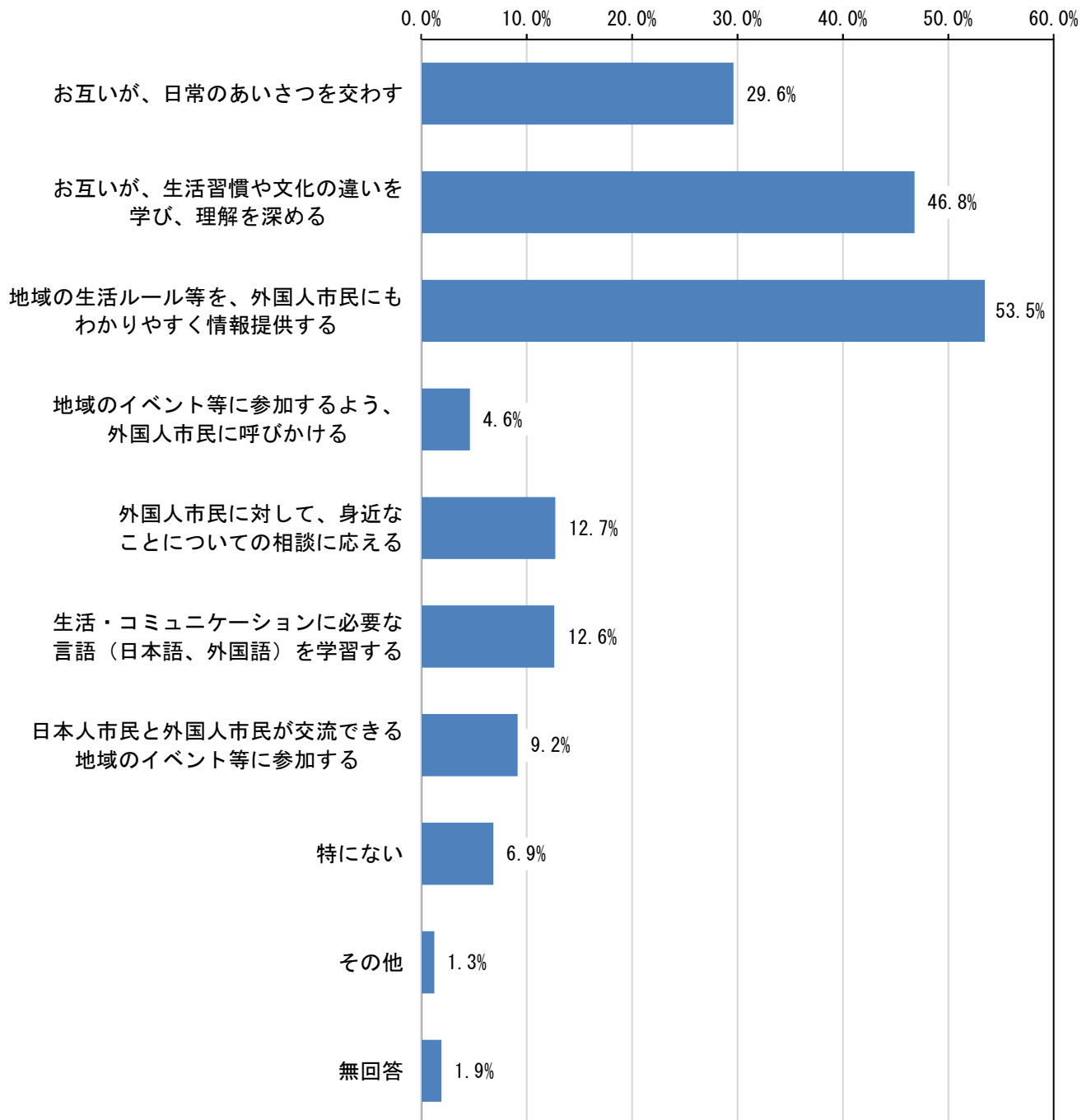
問 27 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていましたか。(○は**1つだけ**)

N=1,036



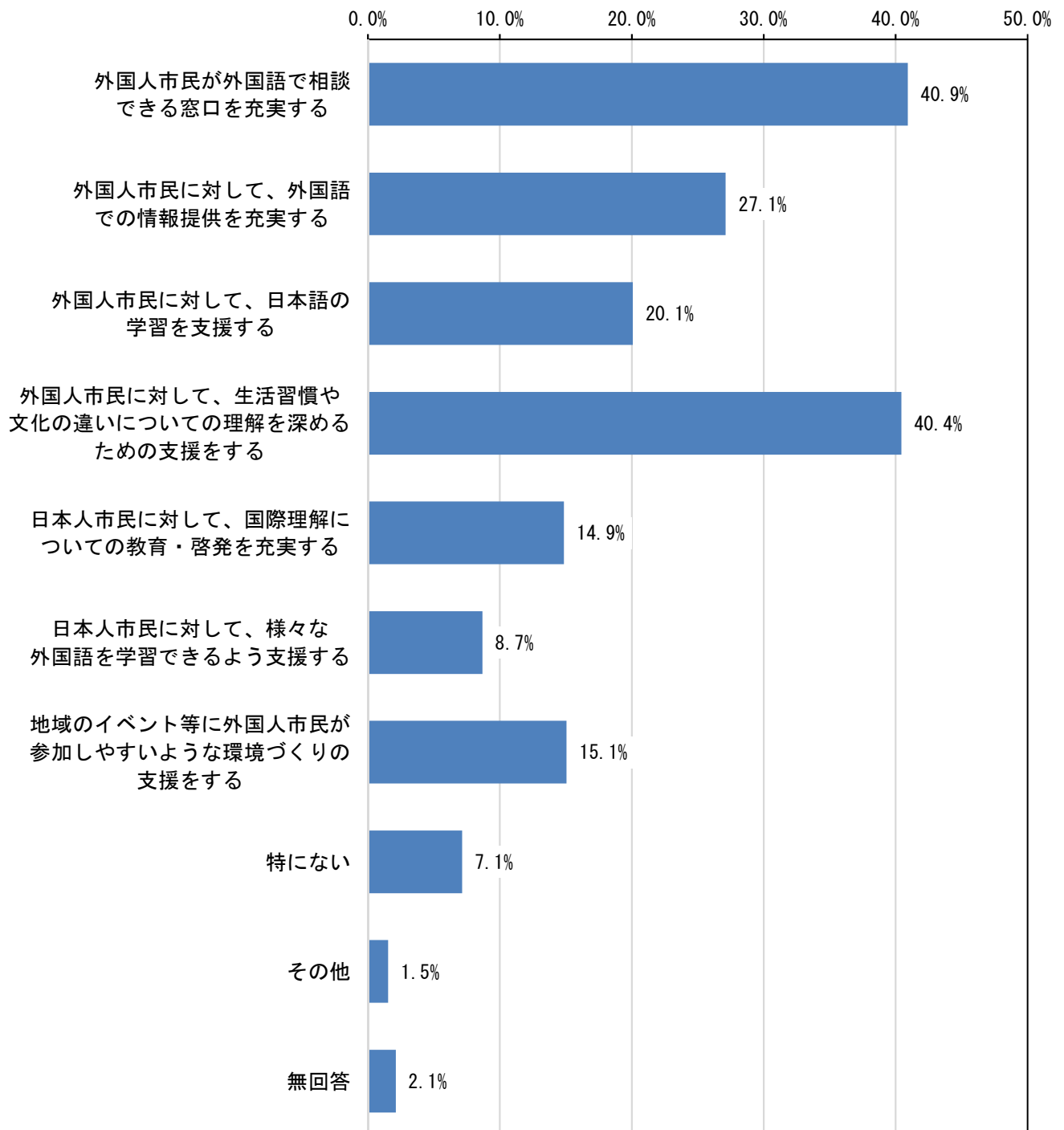
問 28 あなたは、多文化共生のまちづくりを実現するために、市民の取り組みとしてどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

N=1,036



問 29 あなたは、多文化共生のまちづくりを実現するために、本市の取り組みとしてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は2つまで)

N=1,036



～名古屋国際センターについて～

名古屋国際センターでは、外国人市民への情報提供や相談事業を多言語で行うとともに、外国人市民の地域社会へのスムーズな適応や日本社会への理解を促す事業を行っています。

◆多言語による情報提供・相談事業

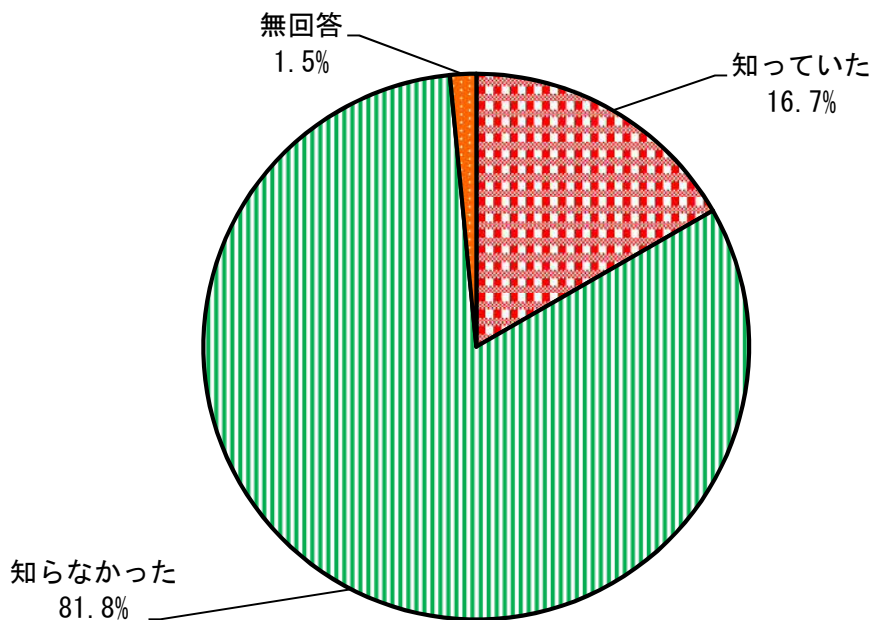
- ・名古屋市の「多文化共生総合相談ワンストップセンター」として、外国人市民に日本の生活や観光などの情報を、日本語・英語はじめ9言語及び「やさしい日本語」で提供しています。
- ・外国人市民のための専門相談として、行政、法律、こころ、教育、税務などに関する相談に多言語で対応しています。

◆外国人市民の暮らしやすいまちづくり

- ・日本語教室（大人向け、子ども向け）などを実施するほか、外国人市民の日本語学習支援にあたるボランティアの研修やネットワークづくりも行っています。
- ・外国人市民が多く暮らす地域において、「顔の見える関係づくり」を目指す住民参加型の交流イベントを実施しています。

問 30 あなたは、名古屋国際センターで多言語による情報提供・相談事業が行なわれていることを知っていましたか。(○は1つだけ)

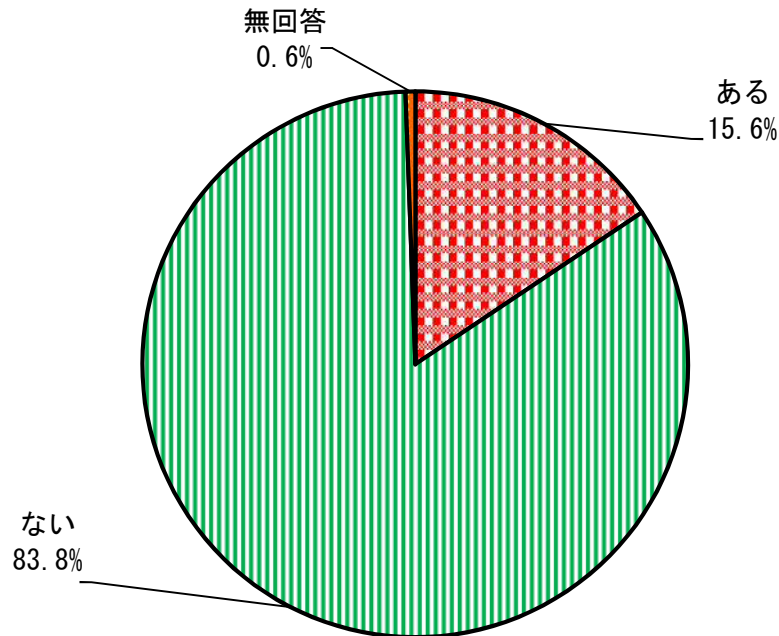
N=1,036



《問 30 で1と答えた方（名古屋国際センターで多言語による情報提供・相談事業が行なわれていることを知っていた方）におたずねします。》

問 31 あなたは、名古屋国際センターの情報提供・相談事業を利用したり、イベントに参加したことがありますか。（○は1つだけ）

N=173



《すべての方におたずねします。》

問 32 本市の多文化共生に関することについて、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

- ・言葉の壁はコミュニケーションをとることへの気持ちを妨げ、日本で生活しながら孤立を感じてしまう人も多いかと思うので、しっかりと取組み、1つ1つの課題を解決へと導いてほしいと思います。
- ・多文化共生という事をまったく知らずにいました。これからは、自分に何か出来る事から始めたいと思います。
- ・どんな国の人でもくらしやすい場所であるとうれしいなと思います。
- ・外国人に日本の生活習慣やルールを知ってもらうとともに、市民も外国の文化や生活習慣を学び、共生を目指す。
- ・お互いの理解を深める為の交流がたくさんあるといい。

ほか